



学校だより

一日一日賢くなるどころ

10月の朝会で、こんな話をしました。

『秋が深まり、良い季節になってきました。校長先生は昨日、ぶどうを食べました。ところで、ぶどうがどんなふうになっているか知っていますか？

知らない人もたくさんいます。その違いは何だと思えますか？ぶどう狩りを一度でもやったことがあるかどうか、また、なっているところを近くで見たことがあるかどうかの違いです。やったことがある、よく見たことがあるという子は、よく知っているのです。体験や見学をしたことがあるかの違いです。

私たちは、賢くなるためには、また、豊かな心の持ち主になるためには、体験してみたり、やってみたりすることが大切です。学校では、机の上で読んだり書いたりするだけでなく、作ってみたり、触ってみたり、友達と活動をしたりします。そういう一つ一つのことが、実は大切な体験です。

例えば、1年生は、あさがおのつるでリースを作りました。2年生は、雨の中、サツマイモ掘りをしました。3年生は、あいな里山公園で、水の中の生き物を見つけ捕まえました。4年生は、車いす体験等の福祉体験をしました。5年生は自然学校で、魚つかみをし、その魚を食べる体験をしました。6年生は、世界遺産の奈良の大仏や二条城で本物を見て、想像し表現しました。

皆さんは、学校でも校外学習でも毎日いろいろな体験をしているといえます。だから、学校には毎日登校してきましょう。疲れている日もあるかもしれませんが、苦手なことがあって嫌な日があるかもしれません。だけど、そんなことにくじけずに、学校に登校しましょう。学校に毎日通っているだけでも、皆さんは、少しずつ賢く豊かになっています。』

学校でも家庭でも私たちは、子供の周りにいる大人として、今後も子供たちの背中をそっと押してあげる存在でありたいと思います。また、子供たちのよき見本や目標でありたいとも思います。私たち大人が「手本を示す。」いけないこと（言動や行動）をしていたら「叱る。」よいこと（言動や行動）をしていたら「ほめる。」「励ます。」ことが大切であると思います。また、子供にとって、良い環境を与え、子供たちが安心して学習や生活できるようにしてあげたいものです。今後も、学校と家庭と地域が手を携えて、私たち大人がより良い手本になり、良い環境を与えて、こうべ小学校の子供を育てていきましょう。

いやなこと

島田 陽子

いややから
いやや いうても
おかあちゃんには つうじへん
いやでも なんでも
やらんならんことは
やるもんや やて

いややけど
いやや いわんと
おかあちゃんは やるんやて
よのなか そやから
うまいこと いくんや
おぼえとき やて

いややから
いやや いうのん
なんで いかんのやろ